

令和3年2月17日

長野市環境審議会  
会長 大澤 幸造 様

長野市環境審議会  
地球温暖化対策専門部会  
部会長 高木 直樹

「長野市環境基本計画」の策定における温室効果ガス排出量の削減について（提言）

国、県が表明した2050年ゼロカーボンに向けて、また、県の気候非常事態宣言に賛同した立場として、長野市としても更なる地球温暖化対策の取組を加速していく必要があります。また、気候変動に伴う事態を回避・軽減するためには2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロ（ゼロカーボン）にし、今世紀末において世界の気温上昇を「1.5℃」以内に抑える取組が重要です。

については、下記の事項を十分に踏まえ、次期計画の策定にあたることを提言します。

記

- 1 国及び県の動向を踏まえ、二酸化炭素排出量を2050年までに実質ゼロとすること。
- 2 2030年の中間目標においても、高い削減目標を設定すること。
- 3 長野市の特長を活かした戦略的な計画とすること。
- 4 2050年を担う若者たちからの温暖化対策の意見に十分配慮した計画とすること。